

「第3次鶴岡市子ども読書活動推進計画（案）」に対する意見公募の結果

1 概要

(1) 募集期間 令和8年2月18日（水）から令和8年3月20日（金）まで

(2) 意見提出者 2名 意見総数 2件

2 いただいたご意見への対応状況

分類	対応状況	意見数
賛同	素案に対して同趣旨の意見、賛同をいただいたもの	0
修正	ご意見の趣旨を参考にして案を修正したもの	0
参考	今後の施策や事業実施にあたり参考とさせていただくもの	2
合 計		2

3 意見と意見に対する考え方

○ご意見の内容により分類して掲載しております。

○ご意見について一部要約等を行っている場合があります。

(1) 素案に対して同趣旨の意見、賛同をいただいたもの

No.	ページ	ご意見	分類	ご意見に対する考え方
		なし	参考	

(2) ご意見の趣旨を参考にして案を修正したもの

No.	ページ	ご意見	分類	ご意見に対する考え方
		なし		

(3) 今後の施策や事業実施にあたり参考とさせていただくもの

No.	ページ	ご意見	分類	ご意見に対する考え方
1	全体について	<p>第三次ともなると、今までの計画の焼き直しが多く、目新しいに欠けてくる。読書活動というものはある意味で普遍的なものだから、そう目新しさを求める必要はないのかもしれないが、子どもたちを取り囲む環境が日々変わる中では、何か新しい切り口とかがあってもいい。</p> <p>特に、探究心を養うとか知的好奇心を刺激する図書館行政があってもいい。幼年期から、新しい技術や科学の進歩に触れさせる施策などがあってもいい。</p> <p>その一方で、デジタル化への反動として、アナログ的なことによる、創作への刺激も欲しい。物語や詩、歌を書くことへの刺激とか。</p> <p>また、幼年期からでも、古典の名作に触れさせる機会や、金子みすゞなど、世代を超えて、愛される作家と作品の紹介など。</p>	参考	現代の子どもたちを取り巻く環境は、大きく変化してきており、継続的に対応していくことが求められていると考えております。いただいたご意見は、今後の計画の推進の参考とさせていただき、子どもたちの読書活動の推進に努めて参ります。

2	全体について	<p>市立図書館建設計画が中断しているようで、とても残念に思う。</p> <p>市立図書館は、特に中学高校生の居場所としての役割に期待していた。そもそも鶴岡は、中高生の居場所が少ない。</p> <p>一番多感な時期に、ゆったりと本に触れたり、友達とのんびり本を選んだり、読んだりしながら、図書館という空間の楽しさを味わってほしかった。</p> <p>今の図書館でもできるのではないかと思われそうだが、「新図書館ができたので、面白そうだから行ってみよう」という強い動機付けになると思う。広くきれいで多機能で楽しいところであれば、図書館への興味・本への興味も増してくるだろう。</p> <p>SNS と共存して、自分の居場所の一つに位置付けてほしいと思っていた。</p> <p>財政的な問題からの棚上げと思うが、子どもの成長は早い、延び延びになっているうちに大人になってしまう。県内でもミライニや長井市や山形市の図書館など、たくさんの成功事例があるので、ぜひ優先して進めてほしい。将来を担う子どもたちのために、また地域の交流を活性化するためにも図書館建設を強く要望したい。</p>	参考	<p>図書館の老朽化による改築については、財政状況を総合的に判断し、一旦整備時期を見直すこととしたところですが、整備の在り方の検討は、継続して進めて参ります。</p> <p>子どもたちの居場所という役割は、近年より高まっています。建替えまでの期間はソフト事業の充実を図りながら、子どもや家族が気兼ねなく過ごせる空間を整備し、子どもの読書活動と個性を尊重した学びを支えて参ります。</p>
---	--------	--	----	---